

施策の方向 Ⅰ-4 その他の地球環境の保全

指標	目標・現状・指標がめざす方向
特定フロン等の環境濃度	【現状】0.25ppb (CFC-11)、0.53ppb (CFC-12) など (2009 年度) 【指標がめざす方向】低いほうが良い
硫黄酸化物排出量 (工場・事業場)	【現状】800 トン (2009 年度) 【指標がめざす方向】少ないほうが良い
窒素酸化物排出量 (工場・事業場) (再掲)	【目標】対策目標量 (9,330 トン) 以下の排出量とするとともに、低減を進めること 【現状】9,591 トン (2009 年度) 【指標がめざす方向】少ないほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：特定フロン等の環境濃度 ・池上自動車排出ガス測定局、大師・中原・多摩一般環境大気測定局4地点の平均濃度は、フロン-11 が0.25ppb、フロン-12 が0.51ppb、フロン-113 が0.72ppb (対前年度：若干増加、対基準年度：低い)	2*	2
■指標：硫黄酸化物排出量 (工場・事業場) ・工場・事業場からの排出量 635 トン (対前年度：190 トン減少、対基準年度：少ない)	3	
■指標：窒素酸化物排出量 (工場・事業場) (再掲)	2	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

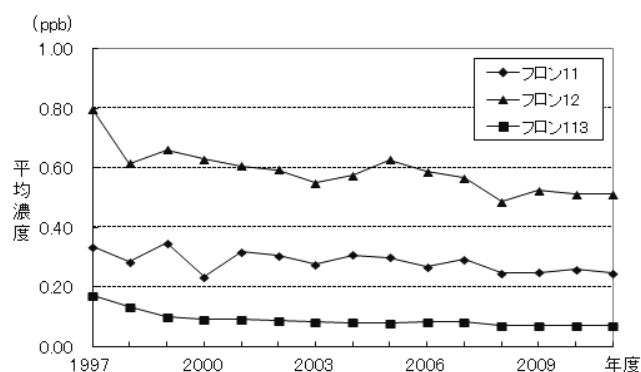
現 状

■特定フロン^{*46}等の環境濃度

市内4地点 (池上自動車排出ガス測定局、大師・中原・多摩一般環境大気測定局) で、毎月主な特定フロン (CFC) の環境濃度を測定しています。

2011 年度における4地点の平均濃度は、フロン-11 が0.25ppb^{*47}、フロン-12 が0.51ppb、フロン-113 が0.72ppbとなっています。

これらの特定フロンはすでに生産されていませんが、様々な分野で使用されています。近年、ほぼ横ばいで推移しており、局地的汚染を受けていないと考えられる北海道の観測地点 (環境省調査) と比較しても差異はみられませんでした。



環境大気中の特定フロン濃度の推移

■硫黄酸化物排出量及び窒素酸化物排出量

市内工場・事業場からの窒素酸化物、硫黄酸化物の排出量

年度	2009	2010	2011
窒素酸化物 (トン/年)	9,591	9,348	9,467
硫黄酸化物 (トン/年)	800	825	635

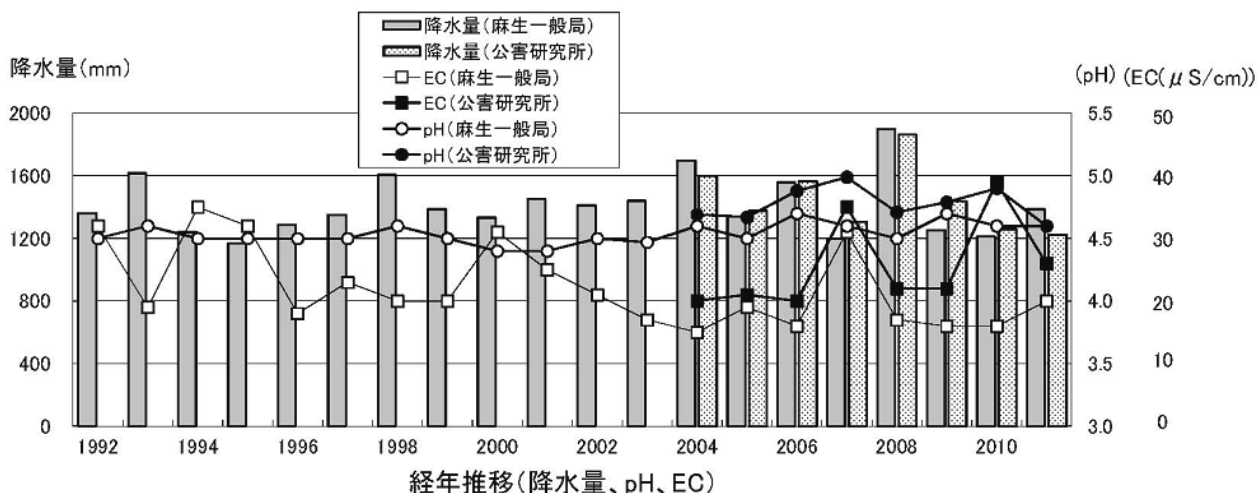
市内の酸性雨^{*48}の状況を把握するために、1991 年8月から麻生一般局に、2003 年12月から公害研究所 (川崎区田島) に降雨雪自動採取装置を設置し、降水の pH^{*49}等の測定を行っています。

2011 年度の pH 及び導電率 (EC) の年平均値は、それぞれ麻生一般局で 4.6 及び 20 μS/cm、公害研究所で 4.6 及び 26 μS/cm でした。

*46 特定フロン：(巻末用語索引参照)

*47 ppb：(巻末用語索引参照)

*48 酸性雨：(巻末用語索引参照)



■ 森林の保全

まちづくり局発注工事においては、熱帯材の使用を極力抑制するよう努めています。

具体的施策事業の概要

施策の方向

施策の柱

I-4 その他の地球環境保全

I-4-1 オゾン層の保護等その他の地球環境問題への取組

I-4-1 オゾン層の保護等その他の地球環境問題への取組

I-4-1-1 オゾン層^{*50}の保護

具体的施策名	2011(平成23)年度実績	2012(平成24)年度計画等
代替フロンガスの環境濃度測定 [環：環境対策課] [環：公害研究所]	□代替フロン濃度(前年度差) ・HFC-134a:0.13ppb(±0) ・HCFC-22:0.46ppb(+0.01ppb) ・HCFC-142b: 0.0032ppb(+0.003ppb) ・HCFC-141b:0.052ppb(±0)	市内4地点で継続して測定
特定フロンの環境濃度の測定 [環：環境対策課] [環：公害研究所]	□特定フロン濃度(前年度差) ・フロン11:0.25ppb(-0.01ppb) ・フロン12:0.51ppb(±0) ・フロン113: 0.072ppb(+0.003ppb)	市内4地点で継続して測定
自動車リサイクル法に基づく、フロンの適正な回収処理に係る指導の実施 [環：廃棄物指導課]	□登録事業場数(2010年度末): ・引取業者:198業者 ・回収業者:32事業所 □実地調査・指導等件数 ・引取業者:137業者 ・回収業者:25事業所	継続実施
オゾン層保護に関する意識啓発 [環：地球環境推進室]	オゾン層保護に関するパンフレットの配布	継続実施

I-4-1-2 酸性雨の防止

具体的施策名	2011(平成23)年度実績	2012(平成24)年度計画等
酸性雨に関する雨水の調査の実施 [環：公害監視センター] [環：環境対策課] [環：公害研究所]	□調査状況 ・麻生環境大気測定局及び公害研究所で酸性雨モニタリング調査(通年) ・同2地点で年26回採取した降雨中のイオン成分分析	継続実施

*49 pH:(巻末用語索引参照)

*50 オゾン層(破壊):(巻末用語索引参照)

I-4-1-3 森林の保全

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
グリーン購入法施行による環境に配慮した商品の選択等、再生品の利用拡大に向けた啓発 [環：地球環境推進室]	※取組状況 グリーン購入推進方針（2010年4月、20分野、263品目）の推進	・グリーン購入推進方針（20分野、267品目）の推進
熱帯材の型枠、下地材、内装材の使用抑制 [ま：庶務課]	□使用量 ・まちづくり局発注工事においては、熱帯材の使用を極力抑制するよう努めている。	□引き続き実施
熱帯材使用の抑制に関する普及啓発 [ま：庶務課]	・まちづくり局発注工事においては、熱帯材の使用を極力抑制するよう努めている。	□引き続き実施

総合評価

施策の方向	指標	指標評価	方向評価	総合評価
I-1 温室効果ガス排出量の削減等地球温暖化対策の推進	温室効果ガス排出量	3	3	3
I-2 地域のエネルギー資源の有効かつ効率的な利用の促進	太陽エネルギー（太陽光・熱）利用量	3	3	
I-3 ヒートアイランド対策の推進	年間平均気温	3	3	
I-4 その他の地球環境保全	特定フロン等の環境濃度	2	2	